

帰町宣言なきJR竜田乗入れに大きな怒りの声



集会後いわき市内をデモ行進(5月31日)

「運行再開絶対反対!」
いわきで集会と大デモ

私たちJRの労組である国鉄水戸動力車労働組合(動労水戸)は、常磐線広野〜竜田間運行再開に反対してストライキを決定し、31日に平中央公園で反対集会とデモを開催しました。

帰還強制に反対する檜葉町民の声と、労働者・利用者への被ばくを強いる運行再開に反対するJR労働者の力が、檜葉町「帰町宣言」を阻止しました。

帰還強制に固執し、運行再開を強行したJRや安倍政権の国家意思に、さらなる怒りの声を叩きつけましょう。竜田乗入れを中止させるために、私たち動労水戸は第3波ストライキを構えて闘い抜く決意です。

帰還強いる運行再開
中止を求めて闘い抜く

竜田乗入れがいかにも無謀な計画なのか。JRは放射能を体内に取り込んで被ばくする内部被ばくの危険性

については全くの無知・無理解です。また「人身事故や車両異常が起きた時でも、線量が1マイクロシーベルト以上ある場合は車内に避難して待機せよ」と指導していません。「いかに安全を守るか」ではなく、「放射能があるうともいかに電車を走らせるか」という発想なのです。

今回の運行再開によって、避難生活を続ける方々への「放射能は問題ないから帰町せよ」という圧力が強まることを私たちは強く懸念します。放射能への不安を口にする人はこれまで以上に「風評被害をおおるな」「復興にとてマイナスだ」と非難され、避難生活を続けることも否定されていく。原発事故をなかつたかのようにして、事故を引き起こした国や東電は責任から逃げようとする



「共にストライキで闘おう!」JRの仲間呼びかける(5月31日)

動きに他なりません。

誰も住んでいない町に、誰も乗らない電車を走らせることを会社は強制しています。運転士も車掌も心底怒っています。被ばくするだけの意味がない労働ほど辛いものはありません。私たちは、避難者の方々が運行再開に反対していることをいわき運輸区の乗務員に訴え、彼らと共に運行中止を求めて闘うために、怒りの先頭に立つてストライキで闘います。これからも皆様のご理解とご支援をお願いいたします。



除染で出た放射性廃棄物の中を進む電車(6月1日)

竜田乗入れ中止を求める
いわき駅前抗議行動

6月30日(月) 15:00

いわき駅前にて街頭宣伝
☆旗・プラカード大歓迎!
一緒に反対の声を上げましょう!!

竜田乗り入れ中止を求めて第3波ストライキを闘います

国鉄水戸動力車労働組合
doro_mito@yahoo.co.jp
0246-38-7840 (平支部)